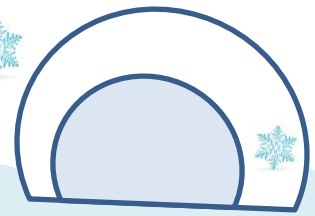




田んぼの学校（雪上運動会）



柏崎周辺農業水利事業所

田んぼの学校－雪上運動会・賽の神－

平成28年3月6日（日）に市野新田ダムを建設している柏崎市女谷地区で今年度最後の「田んぼの学校」が開催されました。当日は天候に恵まれましたが、この冬の少雪の影響で例年から比べると非常に少ない積雪1m程度の雪上で、子供たちと保護者、鵜川地区の住民、国営事業所、柏崎市役所など多数が参加して競技を行いました。



○賽の神（いわゆる左義長又はどんど焼き）

雪原の上に竹や藁で大きなやぐら（賽の神）を造り、それを燃やして豊穰と無病息災を祈る伝統的な行事です。時折はぜる「パンッ」という竹の大きな破裂音に驚きながら、勢いよく燃え上がる賽の神を見守りました。



みんなで賽の神造り



燃え上がる賽の神

○雪上運動会

プログラムはソリリレー、玉入れ、宝探し、パン食い競争など。中でも地元集落の方と田んぼの学校参加者で対戦した綱引きでは、両チームから「せーのっ！」という大きなかけ声があがり、大人も子供も一生懸命に綱を引く姿が印象的でした。



ソリリレー



綱引き



玉入れ



宝探し



射的



パン食い競争

○餅つき

杵と臼が登場すると、子供たちから「はやく！はやく！」「お餅食べたい！」と声があがり、皆興味津々で米からお餅が作られていく様子を見つめていました。

地元でとれたモチ米で餅をつき、つきたてのお餅と熱々の豚汁を美味しく頂きました。



餅つき



交流会

○最後に

農村に住む方々との交流、また農村にある自然や食文化等を体験し、子供たちをはじめ参加者にとってとても楽しいひとときとなりました。

来年度も5月から田んぼの学校が開かれることになっており、農業用水の役割などについても説明をしていきたいと思ひます。